

事務事業 事後評価シート（令和4年度実施事業）

事務事業名	スポーツ活動推進事業				事業通番	4631	
					開始年度	令和3年度	
総合計画体系	政策No.	5	政策名	学びあい未来を拓く人づくり	終了年度	--	
	施策No.	5-3	施策名	生涯スポーツの充実	担当課名	生涯学習課	
予算科目	会計	一般会計		款	教育費	担当係名	生涯学習係
	項	保健体育費		目	保健体育総務費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	スポーツ推進基本法、会津美里町スポーツ振興事業補助金交付要綱					
事務事業の概要	町民や各種団体・実行委員会等のスポーツ活動を支援するため、大会運営や補助金等の交付を行う。					
対象（誰、何を）	町民					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	スポーツを通して心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自立心その他の精神の涵養等を図る。					
成果の考え方	A スポーツイベントに取り組む人数を把握し、スポーツ人口を図る一つの指標とした。 B 市町村対抗スポーツ大会への参加を通して、競技スポーツの取組を図る一つの指標とした。					
【成果指標】						単位
A ふれあいウォークやスキー教室に参加した人数						人
B 市町村対抗スポーツ大会への参加						種目

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度
事業費(千円)	3,452	4,904			
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他		778			
一般財源	3,452	4,126			

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	30,000	1,000			
	15,640	582			
B	3	3			
	3	3			

(3) 活動実績及び成果

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあいウォークはコロナ対策として人数やおもてなしの制限、開会式を省略して開催し、548人の参加があった。</li> <li>スキー教室は、小山スキー場（20人）と沼尻スキー場（14人）で計2回実施し、34人の参加があった。</li> <li>福島県縦断駅伝競走大会 大会結果：総合8位 町の部2位 市町村対抗軟式野球大会 大会結果：2回戦敗退 市町村対抗ソフトボール大会 大会結果：2回戦敗退</li> </ul>
成果	感染症対策を講じたうえでスポーツイベントを実施し、町民の健康増進やスポーツ振興に繋がった。スキー教室は、例年とは異なり小山スキー場だけでなくリフトのある沼尻スキー場で実施することにより、町内子どもたちのウインタースポーツの振興とスキー技術の向上に努めることができた。各種市町村対抗においては、出場選手のみならず体育協会や強化部会等が一体となって運営にあたり、スポーツを通じた交流を深めることができた。特に駅伝競走大会においては、連続して上位入賞を果たし、自らの体力増進や町全体のスポーツ振興に繋がった。

3. 最終評価

成果の方向性	拡充	(理由) コロナ禍により停滞していたスポーツ事業をより効果的な事業として展開するとともに、一人でも多くの町民のスポーツ契機づくりに務めていく必要がある。
コストの方向性	現状維持	(理由) 魅力的なスポーツイベントとするためにも関係団体と連携した事業拡大を検討するとともに、費用対効果の観点から会費の増額やtoto助成などの補助事業の活用を図る。
今後の方向性	生産性改善	(理由) 基本的な感染対策を踏まえながら各種スポーツ事業を実施し、町民の健康づくりに繋がるスポーツの契機の創出に努めていく。

事務事業 事後評価シート（令和4年度実施事業）

事務事業名	生涯スポーツ振興事業				事業通番	4637	
					開始年度	令和3年度	
総合計画体系	政策No.	5	政策名	学びあい未来を拓く人づくり	終了年度	--	
	施策No.	5-3	施策名	生涯スポーツの充実	担当課名	生涯学習課	
予算科目	会計	一般会計		款	教育費	担当係名	生涯学習係
	項	保健体育費		目	保健体育総務費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	スポーツ基本法、会津美里町スポーツ推進審議会条例、会津美里町スポーツ推進員条例、会津美里町スポーツ推進委員会運営規則、会津美里町スポーツ大会出場激励金交付要綱					
事務事業の概要	町民が生涯にわたりスポーツを通して生きがいづくり、健康づくりを図れるよう、スポーツ政策の審議、スポーツ事業の企画・立案、実技指導を行う。また、町民のスポーツ普及奨励と競技力向上を図るため激励金を交付する。					
対象（誰、何を）	町民					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	スポーツを通して心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自立心その他の精神の涵養等を得る。					
成果の考え方	A 町民のスポーツ普及奨励を推進するためスポーツの機会づくりを図る指標とした。 B 町民のスポーツ競技力向上を図る指標として設定した。					
【成果指標】						単位
A	スポーツ推進委員会が主催・協力したスポーツ教室等の件数					件
B	激励金交付件数					件

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度
事業費(千円)	747	1,149			
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	747	1,149			

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	8	7			
B	5	26			
	6	11			
	6	12			

(3) 活動実績及び成果

活動実績	町スポーツ推進委員会ではニュースポーツ教室（19回）の実施や、婚活スポーツ教室（5回）などへの協力を行った。また、町民を対象としたニュースポーツ教室を本郷と新鶴地域で行った。激励金については、全国大会出場1団体、個人11名の交付を行った。スポーツ推進審議会では、高田体育館の大規模改修や、公共施設予約システムについて審議を行った。
成果	感染症対策を講じながら実施したスポーツ推進委員によるスポーツ事業や、激励金交付事業などにより、スポーツに関する意識向上が図られ、また、これらの取り組みを通して心身の健全な発達を促すことができた。さらに、社会体育施設を始め学校開放施設などが、いつでも、どこでも空き状況が確認でき、予約可能な「公共施設予約システム」を導入したことにより、町民の利便性が向上した。

3. 最終評価

成果の方向性	拡充	(理由) 公共施設長寿命化計画に基づいた体育施設改修前の利用者調整を図る等、適宜審議し意見をいただいた。また、町課題解決のためにスポーツ推進員によるニュースポーツ教室などを実施し、町民のうんどうの契機づくりに務めている。激励金交付対象者を拡充し、町民の競技スポーツへの技術・意欲向上を図っていく。
コストの方向性	現状維持	(理由) 他課との連携を密にし、町民のスポーツ機会の拡充に努めていく。
今後の方向性	生産性改善	(理由) コストの現状維持を図りつつ、他課との連携を密にしスポーツ推進への有効性の確保に努めていく。また激励金交付対象の拡充を図ることにより、町民のスポーツ普及奨励と競技力向上を図っていく。

事務事業 事後評価シート（令和4年度実施事業）

事務事業名	体育施設管理運営事業				事業通番	4661	
					開始年度	平成17年度	
総合計画体系	政策No.	5	政策名	学びあい未来を拓く人づくり	終了年度	--	
	施策No.	5-3	施策名	生涯スポーツの充実	担当課名	生涯学習課	
予算科目	会計	一般会計		款	教育費	担当係名	新鶴生涯学習センター
	項	保健体育費		目	保健体育施設費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町体育施設条例、会津美里町体育施設条例施行規則					
事務事業の概要	生涯スポーツの振興を図るため、体育施設の適正な維持管理を行う。					
対象（誰、何を）	町民					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	町民が安全で快適に利用できる。					
成果の考え方	利用者が安全かつ快適に各種スポーツを行えるよう、各施設の適正な管理に務める。					
【成果指標】						単位
A 利用件数						件
B 延べ利用者数						人

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度
事業費(千円)	55,836	95,892			
国庫支出金					
県支出金					
地方債		34,700			
その他	398	378			
一般財源	55,438	60,814			

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	4,000	4,000			
	2,444	3,277			
B	60,000	60,000			
	50,903	54,788			

(3) 活動実績及び成果

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地域における生涯スポーツの振興を図るため、体育施設の適正な管理運営に努めることが出来た。</li> <li>高田地域及び新鶴地域の体育施設については、継続して指定管理制度を活用することで、効率的な管理運営に努めることが出来た。</li> <li>公共施設予約システム導入説明会と併せ、体育施設の改修計画による利用者の調整会議を実施した。</li> </ul>
成果	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用者の減少する時期はあったが、3地域の体育施設において適正管理に努め、様々な年齢層の町民に対して、スポーツに親しむ活動の場を提供することで生涯スポーツの振興が図られた。

3. 最終評価

成果の方向性	拡充	(理由) 公共施設長寿命化計画に基づき高田体育館大規模改修工事等を行い長寿命化を図るとともに、指定管理などにより適正なスポーツ環境の整備を図っていく。
コストの方向性	拡大	(理由) 継続して施設の適正管理に務め、公共施設長寿命化計画に基づき高田体育館大規模改修工事実施により経費の増加が見込まれる。
今後の方向性	有効性改善	(理由) 施設の長寿命化を図るとともに、町全体の体育施設の適正維持管理の為、指定管理の一本化を進めていく。また、公共施設予約システム導入による施設利用申請のデジタル化を促進し、さらなる利便性向上・施設利用の効率化を図っていく。